

市長（作野広昭君）

棚上げ状態になっている行政問題の解決について、どのような問題意識と今後のビジョンを持っているのかとの質問であります。合併時に関係各位が協議の上に策定した白山市まちづくり計画の理念を現在の総合計画に引き継ぎ、さまざまな行政課題を解決すべく努力しているところであり、棚上げ状態の事業はないものと認識しております。

この中で、豊かな自然と伝統文化を守りながら、本市のさらなる発展を願い、厳しい財政状況の中ではありますが、持続可能な行財政基盤の確立に向け、行財政改革に取り組むことが最優先課題と考えております。

今後のビジョンといたしましては、白山ろくの資産を生かすという視点で考えてみますと、霊峰白山から始まる白山手取川ジオパークや白峰重伝建などを核として、自然と歴史、文化、伝統を生かすまちづくりを目指すとともに、これらを観光資源とすることや、また過疎対策としては現在、白山ろく定住促進奨励金や、克雪化促進事業のほか、白山ろく地域高等学校等通学費助成制度などの事業を実施しておりますが、今後さらなる定住促進策の充実を図ってまいりたいと考えております。